

新宮山彦ぐるーぶ第2006回

第60回己亥歳十二支会例会・猪背山(Ⅱ△553.3m)協賛行事

◇実施日：2019年01月12日(土)～13日(日)

◇参加者：主岡憲明・明、山上皓一郎・昌子、川島 功、沖崎吉信、前田 正、大江加予子・徳子、眞砂民雄、松本 良、上村洋司・和美、佐藤優美子、茂原 治、佐藤宏子、椎木 堯、山上智英・久美子、森口一郎・緑、田中稔昭(12日)、栗原眞行(13日)。 計23名。

今西錦司先生の創設で1960年に第1回十二支会例会が子ノ泊山で開催され、本年・2019年で干支5順目の第60回十二支会例会開催になり、会員の高齢化と共に慶祝者の登頂が難しくなるなどにより、今回が最終回の例会になった。今後、新たなルールによる新十二支会例会の継続開催が検討されている。

前夜祭 01月12日(土) 曇り

今回新宮組は、例会参加の前山として京都・北山「今西錦司先生レリーフ」を訪ねてから前夜祭会場に入る計画であったが、台風の被害が甚大で林道崩落、とりわけ風倒木が多く未処理のままとなっている情報から、致し方なく企画を中止にした。

次に、三上山(近江富士)登頂組と登らない人は眞砂さんの計らいで比叡山延暦寺の一山・律院参拝組に分かれることにした。が、律院・丸田執事長から新宮から来て下さるのなら、叡南俊照・大阿闍梨様にお逢いして、加持祈祷されてはとの事ことから、少数では折角のご好意に失礼と思われ、全員で律院を参拝することにした。尚、新宮組の玉岡さん親子は車で別行動、上村夫妻は大阪の実家へ立寄るためJR等で前夜祭会場へ直行すること。他地域から参加の会友は、茂原さんは車、椎木・佐藤さんはJR等を利用して前夜祭会場へ。

沖崎車(川島・前田)、大江車(大江親子・松本)、山上車2台(山上家族6名)の4台が、御浜町・ピネで眞砂車(前田氏移乗)と合流し、5台(13名)で走行し伊勢道・安濃SAで再合流をする様に打合せし6時半過ぎに出発。

昨年のような積雪も無く、新名神道への亀山IC、名神道への草津ICでの車の流れもスムーズで順調に走行出来、9時35分に大津IC出口のパーキングに急遽立寄り時間調整する。

律院参拝のみ参加の田中氏が、律院に到着した旨の連絡がある。湖西線・阪本駅で佐藤優美子さんを乗せ、日吉大社近くの律院参拝駐車場に駐車し律院へ少し歩く。

律院で叡南俊照大阿闍梨様に一人ずつ挨拶する為、庭園の望める和室でお茶・御菓子が出されて待機する。

千日回峰行を満行すると生け仏の不動明王とも言われる大行満大阿闍梨様となる。叡南俊照大阿闍梨様は、香川県生まれで、昭和54年に千日回峰行を満行され、戦後8人目の大行満大阿闍梨様となられ、現在85歳とのこと。

信者の方が多くて、ようやく呼ばれて接見室の大阿闍梨様に挨拶して、新宮山彦ぐるーぶからお供え「清酒2本」と個人のお布施(三千円)をお渡しするが、次から次に信者が来られぐるーぶの半数以上は接見挨拶できず、昼食後にご挨拶をする事になった。



律院玄関前での参拝者



和室で待機



お加持を受け護摩堂外へ

11時より護摩堂で叡南俊照大阿闍梨様が、護摩木を焚かれ祈祷・お加持を受けるために護摩堂へ移動する。

室内は灯明だけで薄暗く椅子に座り、大阿闍梨様が入室される間に、不動明王ご真言「ナーマク サマンダー バサラナン センダ マーカシヤロナ ソワタヤ ウンタラタ カンマン」を練習復唱する。

大阿闍梨様が入室され、祈祷文言と護摩木が焚かれ、室内の信者と共にご真言を護摩木が焚かれている間延々と復唱する。

護摩木焚きが終りお加持を受けて、12時過ぎに護摩堂から律院の先刻の和室に移動して精進料理の食事をいただく。食事前後には、食への感謝する経文を僧が詠み手を合わせて復唱する。

食事後に、午前中に接見・挨拶出来なかった方が、大阿闍梨様にご挨拶を済ませると「お数珠・線香・ストラップ」を賜わる。又、昨日11日は鏡開きの日だったため、小分けされた鏡餅を頂いて来た。律院を退所し山王総本宮・日吉大社を参拝する。

明治元年の神仏分離令後の廃仏毀釈は、日吉大社が寺を襲ったことか発端になり全国に拡がったとの沖崎談。

おおよそ2100年前に創祀された大社で、猿の霊石↓多羅葉(字が書ける葉)↓東本宮↓三宮宮遥拝所↓西本宮↓山王鳥居のコースで参拝した。境内には昨秋の台風による倒木が散見された。



律院Pで行動予定説明



東本宮



西本宮と楼門



豆柿と西本宮楼門



焚火で休憩



日吉大社口にて

日吉大社参拝後、雄琴温泉・琵琶湖グランドホテルには14時20分頃に到着。

京近江1Fロビーに受付机があり、当地担当の京都グループの方々と林世話人が60周年記念Tシャツ販売の店開きが始まっている。

先着された方々にご挨拶や再会の握手等交す、玉岡さん親子も既着され待機されていた。

前夜祭懇親会場の西館2F「千代鶴の間」舞台に十二支会旗・今西先生の写真を掲示するイーゼル組立を金光さんと川島が行うと共に寄贈酒を運び込む。



受付・Tシャツ販売



旧交を温める



懇親会の舞台

故・伊富喜秀明師関係者の鮫島さんへ玉岡さんが逢いたいと手紙を出されたので、お逢いに鮫島・佐々木さんが来られていると準備中の会場に連絡が入り、ロビーに戻り旧交を温める。

18時から川島世話人の開会宣言後、堀会長の挨拶がある。今回が最終回となる事から当初83名の大勢の参加となったが、79名(会員70名中56名+ビジター23名)が、各地から参席されました。昨年のお物故者(横田明男前会長、田中節子)とこれ迄の故人のご冥福を祈念して黙祷する。

従来の慶祝者12名(卒寿:斎藤惇生、山上皓一郎。傘寿:中田勇(欠席)、リチャード・スタイナー、猪又敦子。喜寿:加藤英彦、野村百合子、佐藤靖之、中川 寛、岡本愛子。古稀:日向祥剛、阿部和代)と特別慶祝者(入会以来一度も慶祝対象者になっていない会員)10名(大江徳子、有馬敦江、勝部洋一、茂原 治、椎木 堯、田中稔昭(欠席)、久井信也、長屋桂子、大倉寛治郎、飯田勝之)が紹介され、出席の20名が登壇して会長と記念撮影。明日、猪背山に登頂しない慶祝者(佐藤(代理佐藤宏子)、中川、岡本、野村、スタイナー、斎藤、久井)に慶祝金が会長より贈呈。



会長挨拶



慶祝者の記念撮影



不登頂者に慶祝金贈呈

次に、昨年古稀の沖崎・浅野・金光氏から今年古希の阿部・日向氏に会旗引継ぎ式が行われた。

その後、差し入れ(当ぐるーぷ玉岡・山上・川島・椎木(清酒1本)、佐藤宏(4合瓶)、茂原(清酒3本)、沖崎(缶ビール1箱)と他に堀会長・大分G・早田・野村(清酒1本)、山口G・京都G・山乃仲間(清酒2本)の紹介があり、林世話人から事務局報告がある。乾杯は河村 清(最古参88歳)さんの発声音頭で懇親会が開宴した。



昨年古稀者から本年古稀者に会旗引継ぎ
開宴後しばらくしてから特別慶祝者にハプニングとして森栄司さんの計らいで縁戚(従兄)の清水寺・森 清範貫主の色紙「猪背山」が贈呈された。次に、長年にわたり「さんま寿司」提供の大江加予子さんに会長から金一封の感謝表彰があった。



特別慶祝者に色紙贈呈



さんま寿司提供者表彰



亥年生まれの慶祝者

更に亥歳生まれ会員9名(大江徳子・眞砂民雄、池田真由美、森栄司、高木基揚、木戸繁良、渡辺一光、欠席・山縣忍・川越はじめ)の紹介があり、出席者が登壇して浅野氏提供の猪の置物+ビール券(二本)+己亥千支チヨコレートの贈呈、亥歳生まれビクター(玉岡明・若槻美智子・上村和美)には、己亥千支チヨコレートが贈呈された。

玉岡元会長に挨拶の一言をお願いされたら、十八番「悪友の歌」を披露して下さり余興がはじまる。



亥歳会員の慶祝
十二支会・歌集から最初に今西先生を偲ぶロングロングアゴー
が林・山上さんの音頭で合唱された後、川島が山形大黒舞を披露。



ロングロングアゴー

民謡・山形大黒舞

フルート奏者と合唱

その後、フルート奏者(長屋氏)との合唱、少し早い林世話人十八番の日立トンコ節フルバージョンが披露され、おひねりが飛び交う。



十八番・日立トンコ節

宴席・談笑

女性陣コーラス

女性陣コーラスに続いて男性陣が壇上に集い、歌集の合唱で盛り上がり、懇親会コーラスのトリは「今日の日はさようなら」を合唱した。

懇親会会場は2時間で終えることになっていて、渡辺一光氏の中締め、一本締めで前夜祭一次会が閉宴になる。



男性陣コーラス

一次会の中締め

二次会は、「東山の間」で行われ、賑やかな談笑で終始し22時10分に閉宴になった。



「東山の間」での二次会

行動タイム

新宮6:00→御浜町・ヒネ6:35→7:30紀勢大内山IC→8:15安濃
 SAS:40→9:35大津IC・PA9:50→10:00湖西線・阪本駅10:05→10:
 10 律院駐車場→10:17律院→10:55護摩堂12:10→12:20律院(昼
 食)12:50→12:55日吉大社13:55→14:20琵琶湖ランドホテル。
 前夜祭18:00→20:20→20:35一二次会22:10。

猪背山(Ⅱ)△553.3m点名:富川)登頂 01月13日(日) 晴

7時より朝食との事であったが、6時30分頃より並んでバイキング朝食をとる。

昼弁当(鯛飯弁当)とお茶か缶ビールと大江さん手作りのさんま寿司、眞砂さん差入れのポンカンを各自が受付で受取る。

登頂しない方は20名(当るるーぷは、玉岡さん親子、眞砂、佐藤宏子・山上昌子さん)。

ホテルを自家用車約15台とバスで8時半過ぎに出発。

西近江路、湖岸道路を辿り、石山寺を目指し国道422号を走行し大石富川三の右折箇所、赤字の「猪背山登山口」の標識が設置されており、右折して少し下り橋手前を左折すると富川会館

で、9時30分過ぎに到着するが駐車に手間取る。



ホテルでの見送り



バスに乗り込む



猪背山登山口標識

急遽参加の会友の栗原氏に出迎えられる。富川会館横の道路で登山等の留意事項の説明があり、十二支会旗を先頭に隊列に組んで国道422号に戻り、横断して右側に進むと橋袂の金属フェンス越しのため見つけ難い登山口標識が在り、9時50分登山開始。登山口の標高は約180m。



富川会館横道路で説明



国道422号沿いに歩く



橋袂の登山口

バイパス道路が尾根末端を横切ったので、尾根に出るまで急勾配の木製階段を登ることになる。

尾根に出ると、雑木と桧が交雑する緩やかな尾根上の掘れ込ん

だ落葉で滑りそうな山道を登って行く。急な階段登りで少し汗をかき暑くなる。緩やかに下った標高350m辺りで休憩(10時35分)し、卒寿の山上さん一行を少し待つ。

この辺り尾根には赤松が混在し、松葉を踏みしめながら登って行くと山肌が迫り、捲く様に登るが次第に急な登りとなる地点で約1時間前に先行された卒寿・斎藤惇生先生をサポートしている大槻・森氏に追いつく。尾根に出たから少し登り小休止。



急勾配の木製階段

鞍部で小休止

頂上近くで小休止

斜面を斜めに登り主尾根に出て頂上近くで左を捲く様に登ると猪背山頂上(△553.3m 点名:富川)で、先頭は11時25分に登頂した。



会旗持ちが猪背山到着

荷揚げの標識も到着

山頂は刈りあらけられているが展望は無い。櫓のコンクリート礎が残っていた。今峰氏作製の十二支会の山頂標識が、持参カケヤで叩いて設置される。

早速、岐阜・山口、大分グループが昨夜の横断幕を持って記念撮影される。

卒寿の斎藤・山上さんが11時47分に到着され、三角点にタッチされる。会員59名と山彦ぐるーぷ会友の栗原氏の総勢60名が登頂し、堀会長の発声音頭で今西先生流の万歳三唱を山頂にかける。



山頂標識設置

山上さん三角点にタッチ

山頂に万歳三唱!

慶祝者(古稀:日向、阿部。喜寿:加藤。傘寿:猪又。卒寿:山上、斎藤)と特別慶祝者(大江、有馬、勝部、茂原、椎木、長屋、大倉、飯田)の14名のセレモニーがあり、会長から慶祝金の贈と日本海と太平洋が「一山一峯に偏せず、一党一派に偏せず」の今西先生揮毫の祝杯に注がれお神酒を飲干す。

最終回の己亥年十二支会例会・猪背山山頂に、卒寿の山上皓一郎、斎藤惇生・元JAC会長兩名が登頂され、最終例会に相応しい華をそえて頂きました。

慶祝者の記念撮影が行われ、登頂者で2番目の古参・高木基揚氏の発声により各自に配布された缶ビール・お茶で乾杯!



当ぐるーぷの特別慶祝者に慶祝金贈呈



卒壽慶祝者に慶祝金贈呈



慶祝者の記念撮影



山彦ぐるーぷ登頂者



猪背山山頂を囲んで各自昼食



ヤッホー掛け！

無風で陽ざしもあまり少し寒いが昼食が出来た。
林世話人の発声で来年行なわれるであろう広島・子ノ岳方角に向けて、ヤッホー！の掛け声をかけて12時35分下山する。
小休止なしに下山して「さらば また逢う日まで」の横断幕に迎えられて、富川会館に13時40分に到着した。一番早い人達
は、所要時間一時間弱で降りた様だ。
富川会館で登頂しなかった方々による、ぜんざい等の接待を受ける。



横断幕に無事下山！

バス乗車の方が揃い14時20分頃に、石山駅↓最終京都駅へ行くバスを見送る。

卒寿の山上さん一行は、バスが出た直後に下山されたが、斎藤先生と途中まで同行した大倉さんが下山され、斎藤先生は15時頃の下山となりそうだとのこと。

山口グループはこの後、一山登ることから「さらば また逢う日まで」横断幕の回収は、京都グループにお願いして、待機している金光さんに富川会館へ戻るように連絡される。

我々も帰新する事にする、山上車は立寄り所(斎藤先生の下山待ちだった)があるので別行動で帰新すること。

山口グループ車を見送ってから帰新するつもりが、山口グループに見送られ14時45分頃に富川会館を発ち、信楽に向け国道

422・国道307の近江グリーンロードを走行して新名神道・信楽ICに入り、律院に立寄って手伝われていた眞砂車と15時15分頃に土山SAで合流し、18時過ぎに無事帰新した。

最後に、今西先生のお膝元で最終回の十二支会が実施され、ご当地の京都グループの方々にお世話になり、又、これまでの十二支会開催の準備に奔走ご尽力頂いた林世話人に衷心より御礼を申し上げます。

行動タイム

朝食6:30→「琵琶湖グランドホテル」8:35→9:30富川会館
9:47→9:50登山口→10:35休憩→11:10休憩→11:25(最後尾
11:47)猪背山12:35→13:40富川会館14:45→15:00信楽IC→
15:15土山SA15:40→16:45紀勢大内山IC→18:15新宮。
(走行距離は約450km)



◇新宮山彦ぐるーぷ会友から十二支会例会への差入れ

- ・玉岡憲明；「熊野三山」1升。
- ・医療法人やまびこ会・茂原 治理事長；雑賀酒造大吟醸3升。
- ・山上皓一郎・川島 功；太平洋生絞り各1升。
- ・沖崎吉信；缶ビール1箱。
- ・椎木 堯；大吟醸酒「竹鶴」1升。
- ・佐藤宏子；大吟醸酒4号瓶。
- ・大江加予子・徳子；さんま寿司85本。
- ・眞砂民雄；ポンカン2箱(20kg)。

(記；川島、写真；大江徳、山上智・川島)